

網走家畜衛生情報

令和7年度(2025年度) 第15号(2月号外) 北海道網走家畜保健衛生所

生乳への抗菌性物質残留事故が発生！

今年度の総廃棄乳量は210トンを超え、過去10年で最多です

令和8年1月13日、オホーツク管内で今年度6例目の生乳への抗菌性物質の残留事故が発生しました。

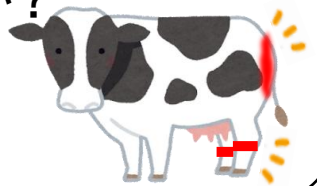
原因は治療牛のマーキングを見落としたことによる誤搾乳でした。

☆治療薬を使ったら、今一度確認を！

- 治療薬を投与する際、牛の耳標を確認しましたか？
- 治療牛を隔離しましたか？
- マーキングは2種類以上しましたか？
- 搾乳ロボットの登録情報は正しいですか？
- 搾乳前に作業者間で治療歴の確認をしましたか？
- マーキングが外れたり薄くなったりしていませんか？
- マーキングを見落としていませんか？
- 自主検査キットの使い方は正しいですか？

抗
生
物
質
投
与
中

投与日
月日



搾乳作業時はより一層気を引き締めて、発生防止対策を徹底しましょう。

※ 参考 令和7年度 生乳への抗菌性物質残留事故発生状況

発生No.	発生日	発生場所	廃棄乳量(kg)	発生原因
1	5/12	網走市	81,486 (ストレージ廃棄)	バケットのとり違い
2	5/19	北見市	10,550	乾乳牛の誤搾乳
3	7/6	雄武町	11,880	分娩牛の誤搾乳
4	8/19	斜里町	11,680	治療牛の誤搾乳
5	8/21	北見市	81,824 (ストレージ廃棄)	誤投薬
6	1/13	小清水町	13,240	治療牛の誤搾乳